

2012年（平成24年）度第5回常務理事会記録

日時 2012年（平成24年）9月8日（土） 13:00～15:20

場所 東京大学医学部教育研究棟13F第5セミナー室

出席者：高田邦昭（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦（以上常務理事）、竹田 扇、寺田純雄、（以上常任幹事）、天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2012年（平成24年）度第3回常務理事会（平成24年6月23日開催） 記録（案）

2012年（平成24年）度第4回常務理事会（平成24年8月13～14日開催） 記録（案）

2012年（平成24年）度第3回理事会（平成24年8月14～21日開催） 議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

平成24年6月分（入会者 正会員1名、学生1名、退会者 正会員 1名、賛助会員2名）

平成24年7月分（入会者 正会員2名、退会者 正会員 5名、学生2名、永年会員1名、名誉会員1名）

平成24年8月分（入会者 正会員3名、学生5名、退会者 正会員 1名）

逝去会員：

大槻文夫氏（東京都立大学名誉教授/永年会員） 平成23年8月22日逝去（享年83歳）

佐々昭三氏（神奈川歯科大学大学名誉教授/名誉会員） 平成24年5月6日（享年87歳）

岡本道雄氏（京都大学元総長/名誉会員） 平成24年7月24日逝去（享年88歳）

石井敏弘氏（東北大学名誉教授/名誉会員） 平成24年8月31日逝去（享年87歳）

(2) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：日本医学会より「医療用医薬品の有効成分の一般用医薬品への転用について（周知依頼）」他47件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：公益社団法人日本麻酔科学会より「Journal of Anesthesia. Vol.26 No.3」他18件あり。

(3) 一般社団法人への移行について

資料に基づいて説明があり、移行スケジュールの変更点、役員選挙に関する追加点の補足説明があった。

(4) 男女共同参画学協会連絡委員会報告

資料に基づいて説明があった。

(5) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づいて説明があった。

(6) 将来計画ワーキンググループ「研究医養成に関するアンケート結果」について

資料に基づいて説明があり、本件は解剖学雑誌に特集として掲載される旨が報告された。

(7) 日本外科学会ガイドライン検討委員会報告

資料に基づいて説明があった。追記事項として、①献体をサージカルトレーニングに応用する場合の取扱規約を明記すること、②コメディカル等の見学者がある場合その名簿を作成すること、③参加者から見学科料等を徴収する場合の取り扱い規約を明記する事、を加えることを検討委員会に要望することとなった。またサージカルトレーニングを巡って種々の意見交換があった。理事長よりサージカルトレーニングに関する規約の解釈・運用についての解説を解剖学雑誌に掲載することが提案され、執筆を井出千束氏（倫理委員会）、菊田彰夫氏（解剖体委員会）に依頼することとなった。

(8) その他

特になし。

2. 編集報告（渡辺編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づいて論文採択率、IFなどに関して説明があった。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 平成24年度一級技術士資格試験について

資料に基づいて説明があり、1名の応募があったことが報告された。

(2) 二級技術士審査結果について

資料に基づいて説明があり、1名が合格したことが報告された。

- (3) 2012(平成24)年度総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づいて説明があり、参加費、寄付金、企業展示に関して種々の意見交換があった。特に①今後はコアとなる幾つかの企業には継続して全国学術集会への出展依頼を出す様なシステムを確立すること、②企業の会計年度の関係から開催前年5月迄には寄付金活動を行うこと、をマニュアル化して次期開催校に配布することとした。その草稿は事務局で準備することとなった。また、全国学術集会開催のノウハウ等の継続性を保つために「総会準備小委員会」を設立する方向で継続審議することにした。
 - (4) 2016(平成28)年度総会・全国学術集会担当校について
資料に基づいて説明があり、開催希望校の紹介があった。また、今後は開催希望の書式を会頭、副会頭連記方式とし、学内でのコンセンサスが確認出来る様なかたちにすることが提案され、その雛形を事務局で作成することとなった。
 - (5) 生物科学学会連合報告
資料に基づいて説明があり、河田理事が情報収集した上で次期代表候補を報告することになった。
 - (6) 第125回アメリカ解剖学会について
資料に基づいて説明があり、標記学会の招待に応じる事にした。参加者は河田理事という方向で調整することとした。
 - (7) その他
特になし。
4. 会計報告(牛木会計担当理事)
- (1) 平成24年度中間決算書について
資料に基づいて説明があった。一般社団法人移行に備えて振興基金の定期預金は解約済みである旨の報告があった。
 - (2) その他
特になし

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について
資料に基づいて説明があり、12名全員が承認された。
2. 教授就任による学術評議員審査について
資料に基づいて説明があり、3名全員が承認された。
3. 科研費応募について
資料に基づいて説明があり、審査基準、新制度のガイドラインを巡って種々の意見交換が行われた。来年度の申請に関しては他の形態系ジャーナルとの共同申請も視野に入れながら、渡辺理事と年森編集委員長で相談の上決定することになった。
4. 解剖学雑誌・ASIの刊行スケジュール見直しについて
資料に基づいて説明があった。引用機会の向上を図るために、原稿の3, 6, 9, 12月発行から1, 3, 6, 9月発行という形に変更する方向で渡辺理事が持ち帰ってその可能性を調査検討することになった。
5. 次期代議員・役員選出選挙について
資料に基づいて説明があり、新任教授を含めた選挙人名簿の作成中であることが報告された。
6. 一般社団法人移行に伴う各種法規の改正について
資料に基づいて説明があり、細目に関しては各理事が持ち帰り検討した上で、WGの答申と合わせて12月の理事会に諮ることとした。用語の改訂、規約の階層構造の改良に関しては承認された。
7. 日本医学会法人化について
資料に基づいて説明があり、①10月25日の臨時協議会には岡部理事が参加すること、②基本的に解剖学会が日本医学会から脱会することは好ましくないこと、③分担金に関して意思表示を行うこと、を確認した。また日本医学会を巡って種々の意見交換があった。
8. 平成25年度仮予算案について
資料に基づいて説明があり、次年度から予算書様式が変更になることが報告された。また、永年会員会費振込、繰越金に関して説明があり承認された。
9. 事務委託契約について
資料に基づいて説明があり、①来年度は基本料金(18万円)を据え置くこと、②法人移行に伴って発生した業務に関して、積算根拠に基づいて口腔保健協会に支払うこと、を承認した。
10. 常務理事会・理事会日程の確認
2012年12月15日(土)に東京駅周辺の会議室で、常務理事会: 11:30~14:00、理事会: 14:00~17:00の日程で行うことが確認された。
11. その他
特になし